

## 鳥取支部第3期データヘルス計画の概要

## 《第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）》

## 1. 目的

保健事業の推進を図ることを目的として、的確なデータ分析と目標の設定、それに基づく計画策定と事業の実施、成果の評価のみならず改善のための評価と見直しを適正に実施するため、各支部の保健事業計画（データヘルス計画）を策定する。

## 2. 実施事項

「特定健診」「重症化予防」「コラボヘルスの取組み」を柱としつつ、「データ分析に基づく地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチ」にも取り組むなど、保険者機能強化アクションプラン（第6期）を踏まえた計画を策定するものとする。

## 《現状における健康課題》

## 1. 背景、不適切な生活習慣

【運動習慣】（鳥取支部男性 74.2%・46位、鳥取支部女性 84.5%・47位）

男性も女性も、改善を要する方の割合が全支部ワースト水準となっている。

【飲酒習慣】（鳥取支部男性 21.5%・43位、鳥取支部女性 4.8%・26位）

男性について、改善を要する方の割合が高い水準となっている。

【睡眠による休養】（鳥取支部男性 37.9%・38位、鳥取支部女性 45.9%・45位）

男性も女性も、睡眠による休養が十分でない方の割合が高く、特に女性は全支部ワースト水準となっている。

【喫煙習慣】（鳥取支部男性 39.6%・21位、鳥取支部女性 11.1%・2位）

男性について、喫煙習慣のある方の割合が39.6%と高くなっている。

【特定健康診査】（被扶養者 24.7%・40位）

（道路貨物運送業 45.7%・46位、その他の運輸業 52.4%・47位）

- ・被扶養者の実施率が全支部水準と比べ低くなっている。
- ・被保険者については「道路貨物運送業」と「その他の運輸業」の実施率が全支部ワースト水準となっている。

## 2. 生活習慣病予備群

【特定保健指導】（鳥取支部 5.2%・43位）

被扶養者の実施率が全支部水準を大きく下回っている。

【生活習慣病リスク】

血圧リスク（鳥取支部男性 57.4%・32位、鳥取支部女性 38.6%・29位）

全支部水準と比べた場合、リスク保有率が低い傾向にあるが、血圧リスクについては、男性も女性も全支部水準より高くなっている。

また、血圧リスク保有率が年々悪化しているため、早急な対応が必要となっている。

## 3. 生活習慣病

【1人あたり医療費】（医療費合計 187,960円・13位）

（入院医療費 57,279円・37位、入院外医療費 70,909円・3位）

年齢調整後の医療費について、全支部水準より低く（安く）なっている。

内訳では、入院外医療費の金額が低いのに対し、入院医療費の金額が高くなっている。

このことから、健診結果が悪かった場合であっても自覚症状がなければ医療機関を受診しないことで重症化につながっていることが推測される。

## 4. 重症化、要介護状態、死亡

【健康寿命・平均寿命】

（男性：健康寿命が全国45位、平均寿命が全国28位）

（女性：健康寿命が全国41位、平均寿命が全国13位）

男性も女性も、健康寿命と平均寿命の差が大きい傾向にあり、日常生活を制限されて生活する期間が長くなっている。

【がん死亡率】

（男女：（H29）86.0%・46位、（R2）68.6%・23位）

（男性：（H29）107.4%・45位、（R2）90.3%・35位）

（女性：（H29）65.8%・45位、（R2）48.4%・6位）

75歳未満のがんの年齢調整死亡率は、年々減少傾向にあるものの、全国平均より高く（悪く）推移している。特に男性の死亡率が高い傾向にある。

《データ分析に基づく鳥取支部の目標》

前述の健康課題を踏まえ、血圧リスク保有率、それに伴う循環器病による死亡率を課題として挙げることにした。

2019年から2021年の健診結果を見ると、血圧リスク保有率が何れの年も全国平均より高くなっており、それに伴う循環器病の一人当たり医療費は、全国平均に比べるとわずかながら低い、金額的にみるとがんが続く2番目に高くなっており、これを抑えることが全体の医療費を抑えることにもつながる。

《各支部の設定目標》

1. 6年後に達成する目標

血圧 18支部、 腹囲・BMI 5支部、 メタボリックシンドローム 4支部

2. 対策を進めるべき重大な疾患

循環器系疾患 32支部、 糖尿病 13支部